

調査報告書 活用のポイント

入学者選抜学力検査結果に関する調査報告書とは……

令和 5 年 2 月 2 1 日に約 40,000 人が受検した、都立高等学校入学者選抜の学力検査結果を分析したものです。各教科の平均点、得点分布及び各間の正答率や、正答率の低い問題を中心に主な誤答や誤答に至った原因の分析を掲載しています。

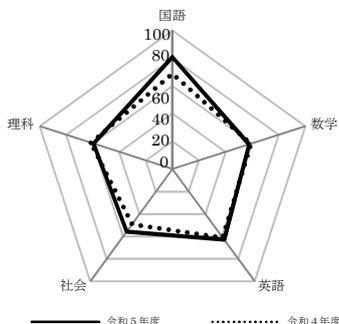


東京都の中学生の学習実態が分かります！

国語・数学・英語・社会・理科の各教科において、どのような分野や領域の力が身に付いているのか、どのような分野や領域を苦手としているのか、どのような間違いをしてしまうのかなど、東京都の中学生の学習状況の実態を表したデータを示しています。また、中学校及び義務教育学校に向けて、学習指導の改善の視点を示しています。

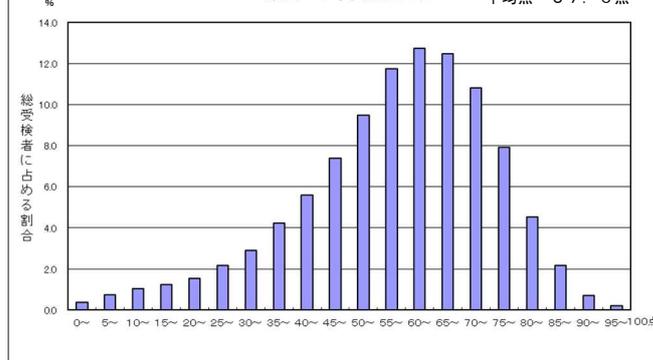
○本調査報告書及び学力検査問題は、東京都教育委員会HP〔<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/>〕にも掲載します。
報道発表資料 6月22日 「令和5年度東京都立高等学校入学者選抜学力検査結果に関する調査について」

令和5年度：各教科の平均点のグラフ



教科	平均点
国語	80.8点
数学	57.6点
英語	62.8点
社会	55.6点
理科	59.4点

数学の得点分布 平均点 57.6点



各教科の得点分布や各間の正答率などを掲載しています。

本調査報告書をどのように活用するか……

本調査報告書は、中学校等及び高等学校において、生徒の学習状況の実態を把握する資料とし、授業のねらいの設定に生かすなど、生徒の様々な力を伸ばす学習指導に活用してください。

活用のポイント

中学校等	調査結果と自校の生徒の学習状況との比較により、成果と課題を把握し、生徒の習熟の程度を高めるために必要な「まとめと指導の改善の視点」を踏まえた指導方法の工夫・改善等に活用してください。
高等学校	調査結果と入学した生徒の結果との比較により、学力を分析し、生徒の学習状況の実態に基づいた指導計画の立案、学力向上に向けた指導方法の工夫・改善等に活用してください。

各教科における生徒の実態と授業改善のポイント

国語

【生徒の実態】

- ③ 問5 登場人物の心情などを読み取る問題（記号選択式）
→正答率85.9%
- ④ 問4 文脈から筆者の意図や叙述を捉える問題（記号選択式）
→正答率71.6%
- ⑤ 問1 文法の働きを的確に捉える問題（記号選択式）
→正答率37.7%

【授業改善のポイント】

- 主人公の言動、話の展開、情景等の描写に着目して、叙述を基に言動の意味や理由、心情やその変化を考える学習の充実
- 語句の意味を調べ、文脈に即して理解する学習や、段落の役割や段落相互の関係をまとめ、筆者の主張を正確に捉える学習の充実
- 文法の使い方を的確に理解し、文脈の中でどのような働きをしているかを正確に捉える学習の充実

数学

【生徒の実態】

- ③ 問3 座標平面上の三角形の面積について考察し処理する能力をみる問題
→正答率13.8%
- ④ 問2② 相似な三角形の性質等を組み合わせさせて線分の比を求める問題
→正答率 1.7%
- ⑤ 問2 立体の体積を求める問題
→正答率 3.2%

【授業改善のポイント】

- 条件を適切に読み取り、文字を用いて的確に表現し処理する学習の充実
- 図形に関する基礎的・基本的な事項を活用したり、それらを組み合わせ考察したりする学習の充実
- 目的に応じて空間図形の一部として平面図形を捉えたり、空間図形を平面図形に帰着させて捉えたりするなどの学習の充実

英語

【生徒の実態】

- ① B<Question 2> 聞き取った事柄について英語で表現する問題（記述式）
→正答率20.5%（部分正答を含む。）
- ② 3(2) 自分の考えやそれを取り上げた理由を英語で表現する問題（記述式）
→正答率56.9%（部分正答を含む。）
- ④ 問2 物語のあらすじを把握し、流れに沿って並べ替える問題
→正答率39.6%

【授業改善のポイント】

- 複数の領域を統合した言語活動（聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや気持ちを話したり書いたりするなどの活動）の一層の充実
- 既習の語彙や表現などを実際に活用する活動を通して、その定着を図る学習の充実
- 本文のあらすじや主人公の心情の変化を把握する力を高める学習の充実

社会

【生徒の実態】

- ④ 問3 明治時代に操業を開始した工場の説明文を時期の古いものから順に並べ、略地図中の工場の所在地を特定する問題
→正答率16.8%
- ⑥ 問1 世界各地の主な鉄道の路線について、略地図と説明文を活用して考察する問題
→正答率20.0%

【授業改善のポイント】

- 歴史に関わる事象について、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察する学習の一層の充実
- 地理、歴史、公民の各分野で習得した知識及び技能を活用して、社会的事象について多面的・多角的に考察する学習の一層の充実

理科

【生徒の実態】

- ③ 問1 露点に関する実験についての知識及び技能、表現力を問う問題
→正答率29.0%
- ⑥ 問3 消費される電力と抵抗器に加わる電圧の大きさの関係性について問う問題
→正答率23.2%

【授業改善のポイント】

- 探究の過程の中で、各領域の基礎的・基本的事項の知識及び技能を身に付け、表現する学習活動の一層の充実
- 実験結果や複数の事物・現象等を関連付けて考察する学習活動の一層の充実